

水道橋病院に 口腔健康臨床科学講座開設

水道橋病院病院長 柿澤 卓

先生方とのよりよい病診連携を目的に発行しました「水道橋畔発」も内容の充実を図り、ここに第二号の発刊に漕ぎつけました。また、4月14日に催しました「第四回 水道橋病院口腔外科症例報告会・懇親会」には、大勢の先生方のご参加を頂き誠に有り難うございました。今回は奥田克爾教授による特別講演「口腔バイオフィルム感染症と全身疾患」を組みましたが、大変好評のようでした。来年も是非ご参集下さいますようお願い申し上げます。

さて、水道橋病院は今までは各講座の出先機関のような存在でしたが、本年4月より病院全体で「口腔健康臨床科学講座」という一つの独立講座として承認されました。これも偏に先生方のご支援の賜と衷心より感謝しております。講座ということは、大学院生・学位取得が可能になることで、研究面にも力点を置かなければなりません。しかし、あくまでも水道橋病院の使命は臨床が主体であり、先生方との連携は些かも変わることはありません。むしろ今後は従来の所属講座の干渉なしに、先生方がご利用し易い病院への改革に取り組める力を得たことです。今水道橋病院は、高次医療（管理歯科治療）部門・高度歯科医療部門・総合歯科診療部門の三本柱を持った基幹的歯科病院への病院機能機構改革を推進しております。本改革によって、先生方が望まれる基幹的歯科病院としての病院機能構築がなされ、近い将来より密接な病診連携が生まれることをご期待いただきたいと思います。

千代田支部と水道橋 「むかし 語り」

昭和25卒 松尾宗明

一枚の写真が手許にございます。東京歯科大学同窓会千代田区支部新年会、昭和34年1月12日、於今文。となっております。

当時は麹町、丸の内、神田と一緒に千代田支部となっております。写真には当時の福島秀策学長、井上 真同窓会会長、鹿島俊雄参議院議員のお顔が見られます。写真の31名中生存者は3名のみです。今文と云うのは血脇守之助先生以来、東京歯科大学ゆかりのスキヤキ料亭です。当支部は毎月1回例会を持ち、大学地元と云う事で、大学より講師を招き勉強会を開いておりました。発足当初は資金がありませんので俺・お前の間柄の先生に無報酬で来て頂き、薬品、器材メーカーにサンプルの提供をお願いして、その説明が多かった様に覚えております。

東京歯科大学病院（当時の呼称）は、口腔外科（レントゲンを含む）、保存、補綴、矯正、の4部でした。社会保険のしくみも簡単、大学病院の患者受け入れも簡単、地元同窓会員と云う事で、千代田支部の先生が直接患者を同行して、大学病院に患者紹介をする姿が良く見かけられました。大学の地元が、大学の地域内にあるのか、と云う間柄です。

杉並支部と水道橋

昭和42卒 増田進致

杉並支部は別名「杉水会」と称します。会員数72名、内名誉会員3名（木村吉太郎名誉教授、柿澤卓水道橋病院長、山口秀晴教授）で構成されています。

JR 総武線で30分たらずで殆どどの会員が母校にアクセス出来るという比較的便利なところに位置しておりますので、患者紹介など何かにつけて水道橋病院のお世話になる会員が多くおります。

水道橋病院の存在は、私達にとって、とりわけ日常診療の安心の寄りどころであります。私達はこの関係を将来も変わらず続けて行きたいと願っていますが、その為には水道橋病院のますますの充実が求められるところです。

そこで、私達は母校の為に出来ることとして、少なくとも一年に一人の患者を紹介するという目標をたてています。

この運動が地域支部連合会全体に行きわたれば、年間1600人の紹介患者が誕生することになり、会員と母校

の結びつきのさらなる強化と共に病院経営の一助となると思います。

私は個人的には患者の安全・安心のために難抜歯一泊入院の紹介を心がけていますが、実際に一泊治療を受けた患者さんからは次の日に都心にある病院から会社に出勤できるのでとても便利だと大いに喜んでおられました。

私はここで、この冊子をお読みのすべての皆様に「一年に一人の患者紹介」を呼びかけたいと思います。



「後楽」の灯が消えた

水道橋病院病院長 柿澤 卓

バブルが去って東歯の煉瓦の本館が姿を消し、水道橋の町も大きく変わりました。私たちが親しんできた店屋も数える程になり、三崎町のシンボルの赤提灯「後楽」も、この四月とうとうその灯を消してしまいました。諸先輩はじめ私などブアーな呑兵衛はどれ程通い詰め、お世話になったことでしょうか。決して旨いとは言えない牛もつのやきとりに「ダイヤ菊」でどれ程愚酔いしたとか、思い出しても二日酔いになりそうです。新しい店舗になってからは、足も遠のきがちでしたが、灯りの消えた前を通ると寂しさもひとしおです。しかし、「三崎神社」「トミー」「水道橋病院」は健在です。新しい飲み屋も沢山できました。ご案内しますので是非三崎町へ足を向けてください。

AED（自動式体外除細動器）の設置

歯科麻酔科 福田謙一

突然死の死因のほとんどは心臓疾患、すなわち心臓突然死で、大部分が心室細動です。心室細動になると、心臓のポンプとしての機能を果たせなくなります。心室細動を正常な状態に戻す唯一の方法は除細動です。AED（自動式体外除細動器）とは、コンピューターによる心電図診断能力を備えた小型の自動体外電氣的除細動器で、除細動が必要かを判断し、救命の手順を音声にて指示し、救命行為が誰でも簡単に出来るように作られた装置です。現在、AEDは急速に普及しており、国際線の航空機内、各医療機関、公共施設などへの設置が進んでいます。

このような社会状況のなか、当病院では来院患者の安全管理という観点から、院内2カ所（3階病院受付、4階ナースステーション）にAEDを設置しました（写真1）。また、病院全職員を対象にしたAEDの使用に関する講習会を、（株）フクダ電子の協力のもと実施しました（写真2）。



（写真1）



（写真2）

歯科用実体顕微鏡（マイクロスコープ）導入のご案内

水道橋病院総合歯科科長 古澤成博

歯科領域に実体顕微鏡が導入され、直視下で処置を行う試みがなされるようになってから早いものですでに10年以上が経過しています。従来、手探りで治療を行わなければならなかった領域に、処置精度の向上につながる視覚強化（Visual enhancement）の一手段として実体顕微鏡が導入されたことは、歯科医学の進歩に大きな貢献を果たしたといっても過言ではないでしょう。筆者も1993年にはじめてDr.Gerry.B.Carrの主宰するパンフィック・エンドドンティック・リサーチ・フンデーション（PERF）においてマイクロスコープの講習を受け、その驚異の世界に感銘を受けたことが昨日のように思い出されます。以来、本学千葉病院保存科において、主に開業医の先生方からのご紹介患者様を中心に拝見し

てまいりました。本装置の使用目的は多岐にわたりますが、最も多くの臨床応用がなされているのが歯内療法学領域です。具体的には1. 根管の探索、2. 穿孔や破折などの偶発症への対応、3. 根管内異物の除去、4. 外科的歯内療法への対応などがあげられます。手探りの処置ではともすれば原因がわからずに抜歯に至るようなケースでも、実体顕微鏡の応用によって原因を発見し正確な処置を行うことで、患歯の温存が可能です。この度、水道橋病院にも歯科用実体顕微鏡が導入され、顕微鏡による各種処置が可能となりました。以前より諸先生方から水道橋病院における顕微鏡下の処置についてのお問い合わせが数多く寄せられてまいりましたが、ようやくそうした患者様をお引き受けできる体制が整いましたので、ここにご案内する次第です。本装置は歯内療法領域のみならず、幅広い分野での臨床応用が可能ですので、ぜひともご活用いただければ幸いに存じます。

水道橋病院 総合歯科

Tel:03-5275-1721 Fax:03-3262-3420

科長 古澤成博 mfurusaw@tdc.ac.jp



CT ご利用のご案内

歯科放射線科

当院でCT スキャンが稼働を初めてから、様々な疾患に威力を発揮しておりますが、装置もバージョンアップされ、以前はシングルスキャンの装置でしたが、デュアルスキャン（1 スキャンで2 画像の情報を得る）に変わり、撮影時間の大幅な短縮、画像処理ソフトの性能強化、画像処理速度の高速化等の大幅な改良が加えられて、診療に大きな力となると考えられます。

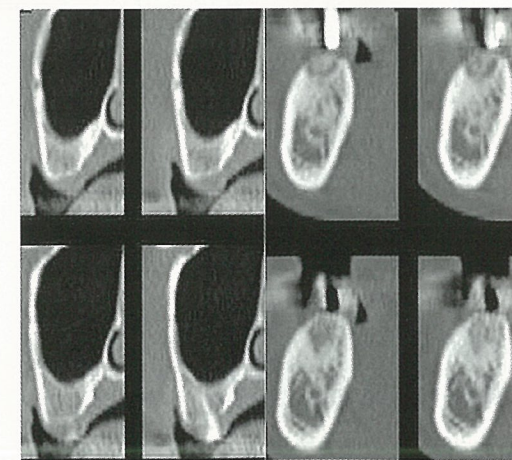
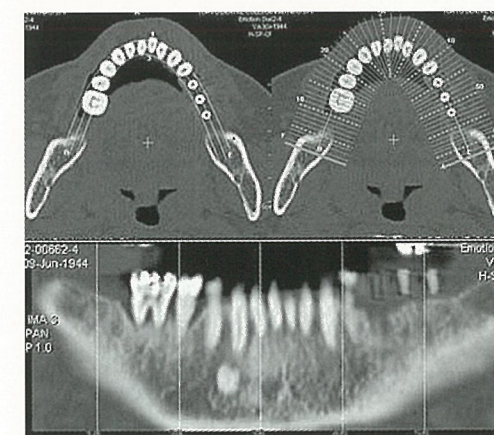
インプラントの術前検査として地位を確立したデンタルCT も一層の改良が加えられました。骨折や矯正症例、顎関節症に広く利用されていた、3D 機能も強化され、画像鮮明度や処理速度が向上しました。また、3D 処理専用ワークステーション 3D Vituoso も同時にバージョンアップし、今後の診療への応用が期待されます。

インプラント、顎関節などの撮影料金は自費となります。ご依頼、お問い合わせは下記までお願いします。なお病院ホームページにも詳細を掲載しています。

CT 撮影予約専用回線

TEL/FAX 03-5275-1953 (担当 山本)

<http://www.tdc.ac.jp/hospital/sh/etc/housya/index.htm>



「パタカラ」禁止について

最近、幅広い効能効果を掲げた民間健康用具「パタカラ」が出回っております。しかし、本品は民間健康用具で一部の効能効果には著しい飛躍があります。また新GCP法に基づいた厚生労働省の治験審査も得ておりません。この普及と治療には歯科医師法違反にも問われる恐れがあるため、本院としては今後「パタカラ」による治療、取り扱いを禁止しました。また、今後講演等につきましても本院との関係はありません。

水道橋界限スケッチ

水道橋の周辺もいろいろと様変わりしています。長年親しまれてきたお馴染みが無くなったり、新たな顔がうまれたり…。そんな、風景の一部をピックアップしてみました。今回第1弾です。



◀酒蔵後楽閉店
長年続いたお馴染みの後楽もついに閉店です。



三崎神社▶
変わらない(変えられない?)ものの代表格。少し綺麗になってはいるようです。



◀ドームホテル
水道橋界限では最新のランドマークでしょうか。

東京歯科大学水道橋病院 直通電話番号(各科受付)一覧
＜水道橋病院各科へは以下の番号にお問い合わせ下さい＞

保 存 科 総 合 歯 科 ス ポ ー ツ 歯 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 2 1
口腔インプラント科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 6 0
補 綴 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 2 2
小 児 歯 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 2 3
矯 正 歯 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 2 4
口 腔 外 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 2 5
歯 科 麻 酔 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 8 5 1
眼 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 8 5 6
放 射 線 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 9 5 3
庶 務 課 FAX	0 3 - 3 2 6 2 - 3 4 2 0

水道橋病院 診療案内

初 診 受 付	平日、土曜とも 午前9時から午前11時
診 療 時 間	平日 午前9時から午後4時30分 土曜 午前9時から午後12時
休 診 日	第2土曜、日曜、祝日、 本学創立記念日(2月12日)、年末年始

※土曜日はスタッフ数が半減いたしますので、患者様を御紹介頂く際は御迷惑をおかけしないために、できれば平日にお越し頂くようお願いいたします。

編 集 後 記

水道橋病院の情報発信誌「水道橋畔発 第2号」をお届けします。4月からの講座開設など新たな枠組みのもと、われわれ病院スタッフは意気込みと慌ただしさのなか明け暮れております。

今回からは各同窓会支部の先生より順にご寄稿いただき、水道橋病院との関わりについてお話をうかがって参りたいと思います。古き良き時代のお話や医療連携にまつわる先輩方の努力、貴重なご意見などがいただけるものとご期待いただきたいと思います。

また新しい治療法や医療に関する話題など、今後も先生方に有用な情報がお伝えできるよう工夫をして参りたいと存じます。皆様からのご意見ご要望がありましたらどうぞお寄せ下さい。

病院メールアドレス shmaster@tdc.ac.jp

(文責 高野正行)

水道橋畔発編集委員

編 集 委 員 長	柿澤 卓
編 集 副 委 員 長	堀田 宏巳、高野 正行
編 集 委 員	大多和由美、関根 秀志、福田 謙一 宮崎 晴代、森山 貴史、